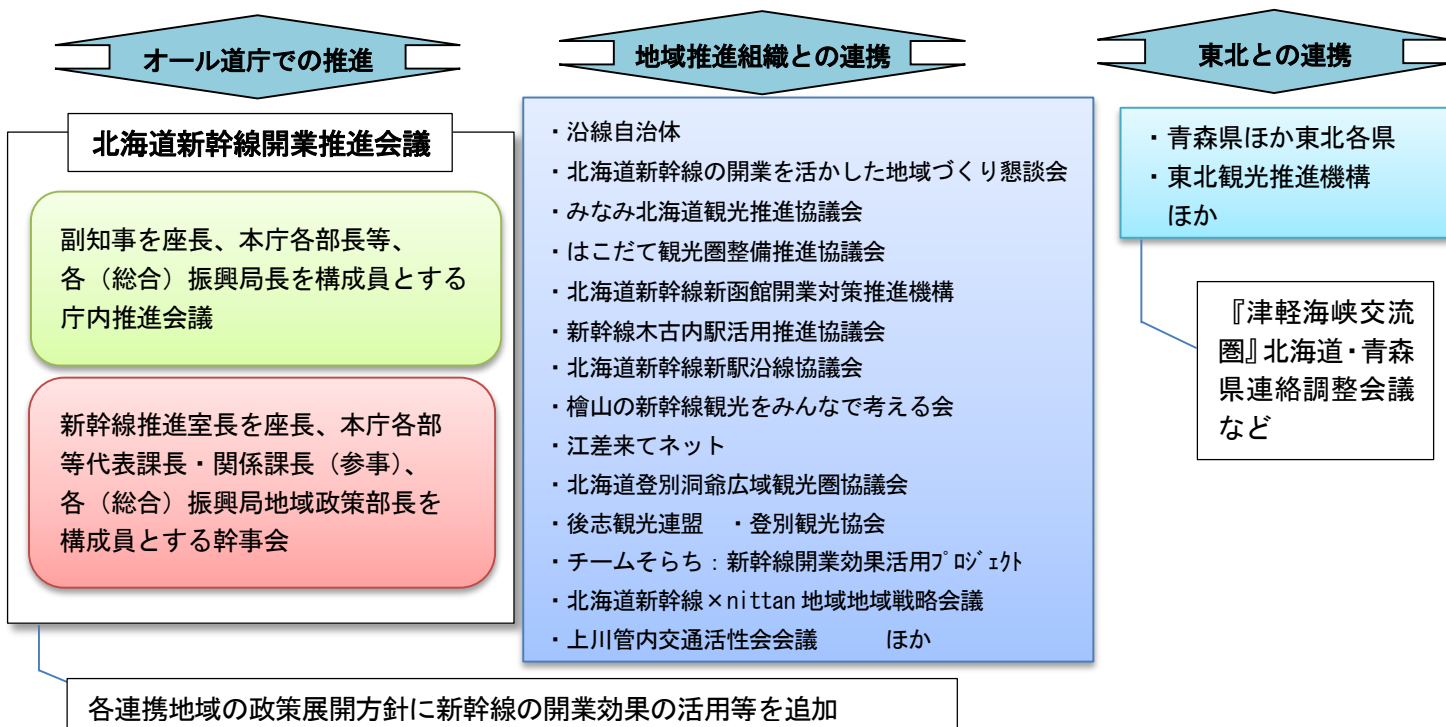
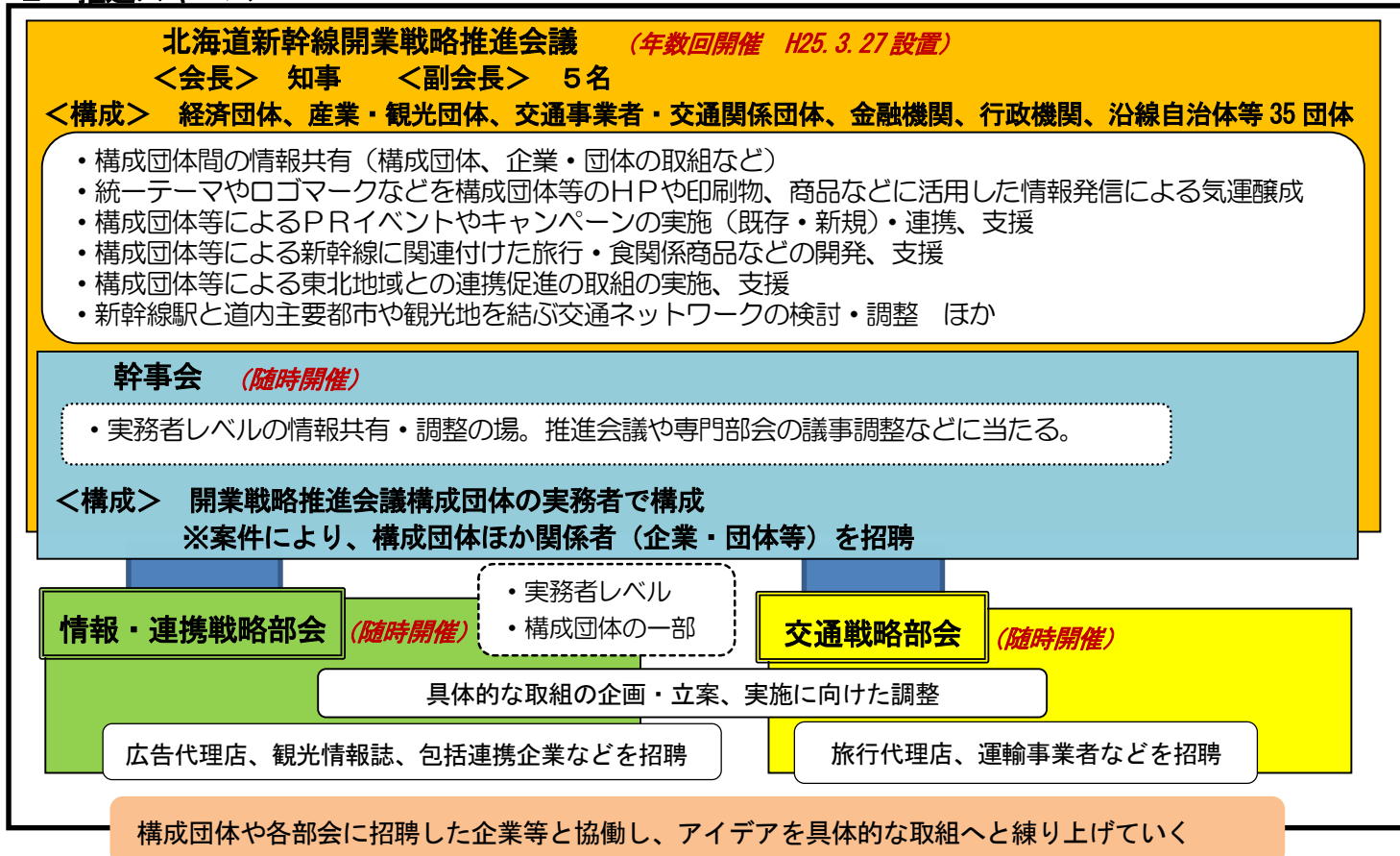


1 趣旨

- ・平成 27 年度末予定の北海道新幹線の開業に向け、開業効果を最大限に高めるとともに、その効果を道南地域はもとより、全道各地域に広く波及・拡大させる取組をオール北海道で推進するため、道が「カウントダウン・プログラム（情報戦略・連携戦略・交通戦略）」を取りまとめ。（平成 24 年 11 月）
- ・このプログラムの方向に沿って、具体的な取組の企画立案、実施に向けた調整などを行うための連携推進組織を設置。

2 推進スキーム



イメージ

- ・二次交通（バス、レンタカー、タクシー、鉄道、観光列車、フェリー、空路）による広域・周遊観光
- ・各種開業関連イベント・キャンペーン等への参加や特産品の出展等による地域PR・販路拡大
- ・新幹線開業記念キャラクター・ロゴ等を活用した特産品のPR（北海道ブランドとしてのPR）

北海道新幹線開業に係る道の官民連携等の動き

H25.12.25現在 総合政策部交通政策局新幹線推進室

■北海道新幹線開業戦略推進会議・専門部会（経済団体など35団体）

検討項目（カウントダウン・プログラムから抜粋）

【情報・連携戦略部会】

- 情報戦略～情報発信と気運醸成
観光客誘致の集中キャンペーンの展開、情報発信の充実・強化
- 連携戦略～地域間連携の拡大
広域観光の推進、東北地域との交流の拡大

【交通戦略部会】

- 交通戦略～交通ネットワークの形成
新幹線とつなぐ二次交通ネットワークづくり、交通ネットワークの基盤整備

○第1回 平成25年4月26日 ※立ち上げなので道からの趣旨説明。

- ・北海道新幹線の開業効果の全道波及と拡大について
- ・今後の部会の進め方とスケジュール（道の予算編成作業に入る9月までに5回開催予定）

○第2回 平成25年5月27日

- ・先行県の取組等の事例紹介（青森、鹿児島、熊本、石川、富山）
- ・部会構成員からの取組報告

【情報・連携部会の主な意見交換】

- ◇企業は具体的にどんな協力をすればいいのか整理してほしい。
- ◇メディアを巻き込み道民の気運を高めることが必要。また、首都圏のメディアにも取り上げてもらうことも必要。
- ◇本州の方は北海道新幹線を知らない。また、道民向けのPRも必要。

【交通部会の主な意見交換】

- ◇新函館仮称駅と現函館駅のアクセス充実が重要。
- ◇二次交通は手段であって目的ではない。地域の魅力づくりが大事。
- ◇二次交通は事業者が担える仕組みづくりが必要。

○第3回 平成25年7月30日

- ・ロゴ、ポータルサイト、二次交通調査等（平成25年度緊急雇用創出推進事業）の道からの説明
- ・今後の企業・団体との連携・協働の推進についての呼びかけ【情報・連携部会】
- ・二次交通に係る取組状況、次年度以降の実証実験等の呼びかけ【交通部会】

【情報・連携部会の主な意見交換】

（道から）企業、団体への協働・タイアップ事業についての呼びかけ・協力要請

- ・東北との連携を進めてほしい。
- ・本州でのPRを。また、百貨店の物産展等でのPRでは、物寂しいコーナーで行うことが多いので、タイアップだけでなく、きちんとしたPRの場を設けることも必要。
- ・PRには多額の費用がかかるので、道や広域組織で連携したい。

【交通部会の主な意見交換】

（道から）地域の自治体や関係事業者等が協議し、次回部会（9月上旬予定）までに来年度に必要な二次交通の取組案や道への提案等をまとめてほしい。

- ・深夜・早朝のアクセスなど何らかの実証試験等を検討中。また、定額タクシー等を調整中。

○第4回 平成25年9月5日

- ・各団体等の取組状況の報告、道への事業等の提案など

○第5回 平成25年10月1日 書面開催

- ・部会意見等を踏まえた道のH26当初予算の想定案に関する情報共有など

■各地域における主な取組状況

道南での二次交通に関する動き

- 「北海道新幹線新函館開業対策推進機構」二次交通充実化部会
(函館商工会議所事務局：函館市、函館観光コンベンション協会、函館商工会議所)
 - ・仮称新函館駅～函館空港のシャトルバスやタクシー等のアクセス充実化の検討
- 「新幹線木古内駅活用推進協議会」二次交通部会
(木古内町事務局：知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、乙部町、厚沢部町、奥尻町)
 - ・「道南史跡めぐり号」の実証運行（H25：地域づくり総合交付金）など
- 「北海道新幹線新駅沿線協議会」
(北斗市事務局：函館市、北斗市、七飯町、鹿部町、森町、各観光協会、JR北海道、函館バス)
 - ・函館周辺のJR、バス、市電が乗り放題チケット「はこだて旅するパスポート」の開発
 - ・周辺地域のバスによる二次交通の整備やJR東日本のツアー商品化の要請活動など

北海道新幹線に関する道南・道央総合振興局・振興局長会議（6月3日）

北海道新幹線開業に向け、道南と道央の7振興局が相互の連携を深めるため、意見交換を実施。各振興局共同による政策提案を目指す（札幌市内）。

道北・道東における新幹線効果の波及に係る意見交換会

北海道新幹線の開業効果の全道波及に向け、道北3振興局及び道東4振興局と新幹線推進室に民間のキーパーソンを交えた意見交換を実施（旭川市内8月27日及び帯広市内8月30日）。

チームそらち：新幹線開業効果活用プロジェクト（9月2日）

北海道新幹線の開業効果を空知地域及び周辺地域等に最大限波及させるため、空知管内の行政、経済団体、事業者等による官民連携組織を立ち上げ（議長：空知総合振興局地域政策課長）

「北海道新幹線×nittan地域戦略会議」設立総会（10月3日）

胆振・日高管内における新幹線開業に向け、官民連携組織「北海道新幹線×nittan地域戦略会議」を設立。（7月2日、本会議設立に向けた首長会議開催）

上川管内交通活性化会議（10月9日）

北海道新幹線の開業や旭川空港の国際定期路線の増加等の交通インフラ等を活用した交流人口の拡大のための官民連携組織の立ち上げ。（市町村、経済団体、観光・交通事業者・団体等）

道南・道央7振興局長の「現地視察会」（11月6日）

新函館仮称駅等の工事現場視察と北海道新幹線開業に向けた各振興局の独自事業、雇用交付金の取組及び地域における連携組織の動き等の情報共有並びに意見交換。

北海道新幹線の開業を活かした地域づくり懇談会第1回WG（11月8日）

渡島・檜山管内の市町村や経済、観光団体、交通事業者・団体、国出先機関での意見交換。

■その他

- 「北海道新幹線開業推進会議」（副知事、本庁各部長等、各振興局長及び教育庁次長で構成）
 - ・課長級の幹事会準備会（4月26日）、第1回推進会議（5月15日）、第1回幹事会（7月9日）※部会情報等は都度通知して情報共有。

「新幹線開業に向けた勉強会」（道観光振興機構主催：道関係部、経済団体やキャリア等で構成）

- ・道観光振興機構の新幹線関連事業企画のための勉強会：第1回（6月26日）、第2回（8月1日）、第3回（9月6日）

「津軽海峡交流圏」北海道・青森県連絡調整会議

(第1回：4月22日、第2回：8月20日)

- ・道南圏と中心とした北海道と青森県とが一体となった圏域の活性化に向け、共同事業等を検討。

北海道新幹線開業PRロゴマーク、キャッチフレーズ募集開始 (8月20日～10月11日)

- ・市町村、関係団体、小中高校はもとより、広く道内外から募集。

「北海道・南九州 食の大物産展」における新幹線PRブース設置 (9月7日)

- ・北洋銀行の実施・協力により東京池袋で開催される物産展に北海道新幹線PRブースを設置

北洋銀行「北海道新幹線カウントダウンボード」設置 (9月20日)

- ・北洋銀行が、カウントダウンボードを、札幌市中央区の北洋大通センタービル1階に設置。
開業日を2016年3月31日と仮定して、「遅くても」と表記。

札幌圏における北海道新幹線の開業に伴う旅行需要等創出事業 (9月～)

- ・石狩振興局が緊急雇用創出事業で実施。札幌圏から東北への送客や交流拡大等を目指す。

北海道新幹線のイメージキャラクターの人気投票開始 (9月12日～10月11日)

- ・札幌近郊の大学生とコラボして作成したキャラクターの投票を開始。

ポータルサイト「北海道新幹線開業NAVI」オープン (9月12日～)

- ・北海道新幹線の最新情報や地域の取組状況などを幅広く紹介するサイトをオープン。
(アドレス) <http://hokkaido-shinkansen-navi.jp/>

「サツエキグルメLIVE」での北海道新幹線PR (9月15、16日)

- ・JR札幌駅南口の「サツエキグルメLIVE」会場の特設ステージで新幹線開業をPR。

北海道新幹線応援隊「Dounan Dream☆Team!」メンバー募集 (10月11日～)

- ・道南地域において、一緒に盛り上げてくれるメンバーの募集を開始。

北海道新幹線建設工事親子見学会 (10月12日、19日)

- ・例年道南地域の小学生と保護者を対象に開催してきた親子見学会を全道に対象を広げて開催。

想いを、北海道新幹線へ。「みんなの絵手紙メッセージ」募集 (10月21日～1月14日)

- ・北海道や東北の魅力を紹介するメッセージつきの絵手紙を募集。応募作品は「北海道新幹線開業NAVI」やフェイスブック、各種イベントなどで紹介。

北海道新幹線開業PRロゴ、キャッチフレーズ、キャラクターの決定 (11月7日)

- ・北海道新幹線の開業をPRするロゴマーク等を決定し、発表。キャッチフレーズは「つながる！ひろがる！北海道新幹線」、マスコットキャラクターは「どこでもユキちゃん」。

道政広報番組「ウィークリー赤れんが」での道南地域の取組紹介 (11月17日)

- ・テーマを「みんなで盛り上げよう！北海道新幹線」として、新幹線駅の工事の様子や木古内町、北斗市、江差町の取組、ロゴ・キャラクター等を紹介。

北海道新幹線工事現場見学会実施 (11月20日)

- ・新函館（仮称）駅や函館総合車両基地の工事現場を見学。見学会の様子を撮影し、広報素材として、北海道庁インターネット放送局「Hokkai・Do・画」等に掲載予定。

北海道さっぽろ「食と観光」情報館での「青森・道南フェア」開催 (11月20～26日)

- ・JR札幌駅構内の北海道さっぽろ「食と観光」情報館で、青森・道南の食と観光、新幹線について紹介。青森のA-FACTORYと同時・相互開催。

その他の動き

- ・「室蘭・登別・伊達3商工会議所北海道新幹線連携会議」の発足（7月25日）
- ・道経連地域政策委員会での新幹線推進室長の講演（8月29日）
- ・「登別市・白老町観光連絡協議会」の新幹線開業に向けた東北・北関東をターゲットとする誘客事業の決定（H25予定）
- ・「北海道新幹線開業を見据えた広域観光連携協議会」の二次交通の調査・検討（H25予定）
（渡島北部、檜山北部、後志北部の8町村：八雲町、長万部町、せたな町、今金町、黒松内町、蘭越町、寿都町、島牧村）
- ・「環駒ヶ岳広域観光協議会」（七飯町、鹿部町、森町）の観光商品開発に向けた検討（H25予定）
- ・「えさし来てネット」（江差町）の新幹線開業に向けたまちづくりの検討（H25）